



令和 4 年夏号をお届け致します。

今回は定時総会特集です。日野地域支部 2022 年度総会、また東京都多摩支部第 19 回定時総会も新型コロナウイルス感染予防のため対面式ではなく書面審議となりました。審議結果について本紙面で報告いたします。

■2022 年度明治大学校友会日野地域支部定時総会(書面審議総会)

日時:2022 年 5 月 2 日~6 月 10 日 (書面審議) 会員審議依頼:会員 51 名

審議方法:議案資料郵送、審議結果(返信ハガキにて)



1. 書面審議総会とした経緯

- (1) 校友会日野地域支部の 2022 年度総会は、新型コロナウイルスの感染状況が収束目途までに至っていない状況から、会員各位の健康と安全を第一に考えて通常開催はせず、書面審議とすることを役員間で決定した。(4 月 4 日メールで役員間審議)
- (2) 会員 51 名へ案内文書、議案資料、及び補足説明文書、返信用はがきを投函した。(4 月 28 日投函)
- (3) 会員からの審議結果を集計し議案承認を確認した。(6 月 10 日集計、審議結果は下記 2 項へ記載)

2. 書面審議結果明細 (ハガキ返信集計結果)

- ・ ハガキによる審議依頼 会員数 51 名
- ・ ハガキ 返却数 31 名 (返信率 60.78%)
- ・ 審議結果 返信会員全員から承認を得た
 - (1) 2021 年度事業報告と収支報告 (承認する 31 名 ・ 承認しない 0 名)
 - (2) 2022 年度事業計画と予算案 (承認する 31 名 ・ 承認しない 0 名)
 - (3) 役員人事案 (承認する 31 名 ・ 承認しない 0 名)

以上、ご報告いたします。

2022 年 6 月 24 日
日野地域支部幹事長 小山 敦

日野地域支部参加者募集

■11 月 10 日(木)国立印刷局東京工場見学と飛鳥山渋沢栄一資料館見学 参加者募集

開催日 2022 年 11 月 10 日(木) ※見学可能日が火曜・木曜に限られています。

参加者名簿が必要なため、事前に募集します。参加希望の方は江面まで 7 月中に連絡を下さい。

申込先(江面):メール:t_ezura@meijikoyukaihino.sakura.ne.jp

■書道同好会 参加者募集のお知らせ

書道を楽しく学んでみませんか。書道には興味があるが、教室へ通う機会がなかった、もう少し自分らしい字、正しい字を書きたい等思ったことはありませんか?

日野地域支部では初心者からも始められる書道同好会を立ち上げます。ご指導は日野地域支部会員である書道師範 森本敏子様です。校友会間の懇親をベースに、書道を学んでみましょう。漢字、かな、硬筆、実用書等、取り組みは参加者で話し合い、ご希望を取り入れていくことを考えていますが、まずは写経から進めていく予定です。

日野地域支部初めての同好会です。皆様の参加をお待ちしています。

ご希望の方は小山までご連絡下さい。

連絡先(小山):メール:a_koyama@meijikoyukaihino.sakura.ne.jp

日野地域支部新役員紹介（総務組織幹事）



この度、明治大学校友会日野地域支部の役員に任命された岡部武（1982年卒）です。皆さん、宜しくお願いいたします。大学時代は工学部だったので、4年間生田キャンパスに通いました。駿河台キャンパスには駿台祭の時に行きまして、サークルが記念館の照明関係を担当していて、徹夜で映画の上映を手伝ったりしました。

趣味はウォーキングをやっていて、昨年3年間で旧甲州街道を1人で踏破しました。今年からは旧東海道を歩いていて、6月25日には暑い中、茅ヶ崎から二宮まで歩きました。添付の写真は茅ヶ崎駅で撮りました。最近、はまっているのはアニメ キングダムでアマゾンビデオを毎日見えています。

今はまだ with コロナの時ですが、やはり皆さんと集い、ビールを飲み、美味しいものを食べて、「おー明治」を一緒に唄える日が早く来ることを願っています。



イベント参加報告（1）

多摩支部企画事業委員会主催「21地域支部を知ろう！写真でスタンプラリー参加しました。

文：山口一男（1988年政経卒）

5月4日（みどりの日）「21地域支部を知ろう！写真でスタンプラリー～第1回 小平地域支部：グリーンロードを歩こう～」に参加して参りました。当日は快晴で少し汗ばむくらいの絶好のウォーキング日和でした。約10kmの長丁場でしたが、小平地域支部の土井様に先導していただき、ところどころの名所で解説していただきながらの散策だったため、とても楽しく歩くことが出来ました。



他地域支部の方々との交流もとても楽しかったです。気持ち

良く散策した狭山・境緑道は、実は多摩湖から境浄水場まで水道管を布設した道路で、長距離に亘り水道を流していくため微妙に緩やかな傾斜を持たせているとのことで驚きました。また、途中で立ち寄った鈴木遺跡資料館（国指定史跡、後期旧石器時代-今から約38,000年～16,000年前の遺跡）も印象的でした。何万年も前の人々の暮らしに想いを馳せることが出来て、ちょっとしたタイムスリップ体験が出来ました。

多摩エリア内各地域にある隠れた名所（？）を訪れることはとても新鮮だと思います。可能な範囲でこれからも参加したいと思いました。

多摩支部企画事業委員会より

1. 実施済事業

- ① 4月24日 六大学野球春季リーグ明治対早稲田戦応援観戦 4名
- ② 5月4日 「第1回21地域支部を知ろう-写真でスタンプラリー」を実施、16名参加

2. 今後の予定

- ① 9月17日（土）六大学野球秋季リーグ明治対東大戦応援観戦（開幕戦 優勝旗返還）
- ② 9月18日（日）「第2回21地域支部を知ろう-日野市（日野地域支部）」
- ③ 10月15日（土）箱根駅伝予選会応援（立川駐屯地および立川昭和記念公園内）
- ④ 10月27日（木）第3回多摩支部ゴルフ大会開催（西武園ゴルフ場8組）
- ⑤ 12月 4日（日）ラグビー明早戦応援観戦（チケット団体購入可能なら）

他に明大シェイクスピアプロジェクト観劇（11/4～6）、和泉ラーニングスクエア見学など大学・校友会本部・多摩支部・各地域支部のPR連絡など。

イベント参加報告 (2)

文・写真 江面利和 (1972年工卒)

6月11日田植え行事(国立地域支部)に参加しました。例年(但し2020~2022年度はコロナで中止)、国立地域支部主催で12月に行っている「餅つき大会」用の「国立産明大米ブランドもち米づくり」イベントです。国立地域支部校友を中心に国分寺、あきる野、日野と4地域支部の校友20名が集まりました。午前10時から作業を始め、11時前に終了。作業中は雨にも降られないで、良い体験ができました。11月の稲刈りには皆さんも参加してみても如何でしょうか。



国立市 明大会田圃処にて

MEIJI UNIVERSITY
三河においでん!
尾張にこわれ
明治のいっしょ
ひとつにならまい!
第59回明治大学全国校友
愛知大会
2023年11月18日(土)
11月19日(日)
主催 明治大学全国校友愛知大会実行委員会

11/18(土) 前夜祭参加
■15時~16時30分
支部長・幹事長・地域支部長・本部員懇談会
■17時~19時
前夜祭
名古屋マリOTTアソシアホテル

11/19(日) 大会参加
■13時~16時
記念式典・記念講演会
ウイंकあいち
■17時~19時
懇親会
名古屋マリOTTアソシアホテル

申込窓口(委託先): 名鉄観光サービス名古屋中央支店
TEL: 052-586-4545 受付時間 10:00~17:00 土日祝日休み

- ・ウイंकあいち(愛知県産業労働センター)
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4-4-38
TEL: 052-571-6131
- ・名古屋マリOTTアソシアホテル
〒450-6002 愛知県名古屋市中村区名駅 1-1-4
TEL: 052-584-1111 (代表)

第2023年11月明治大学校友会全国大会愛知に来る!

コロナ禍だからこそ愛知から「前へ！」
撞くや時代の暁の鐘月これが明治だ!

【前夜祭】

2023年11月18日(土)

会場 名古屋マリOTTアソシアホテル

【記念式典・記念講演会】

2023年11月19日(日)

ウイंकあいち

懇親会 名古屋マリOTTアソシアホテル

コロナ禍で全国大会の開催に慎重にならざるを得ない中、「義を見てせざるは勇なきなり」の信念に基づき、愛知県支部として名乗りを上げ、2005年以來18年ぶりとなる全国校友大会を、2023年11月、愛知の地で開催する運びとなりました(通算3度目)。

現在、愛知県支部常任幹事を中心に鋭意準備中ですが、広告への協賛をはじめ、校友の皆様方からの絶大なるご協力、ならびにご参加を心よりお待ちしております。

※2022年度の全国校友岡山大会は中止になりました。



八幡山グラウンド近隣地に、新たに体育会競走部(長距離部門)・サッカー部合同の合宿所を建設することとなり、2023年春の竣工を目指して5月14日、八幡山地区で体育会サッカー部・競走部合宿所(仮称)新築工事の地鎮祭を執り行いました。地鎮祭には、大六野耕作学長をはじめとする大学関係者らと、両部の部長・監督が参列。(出典:明大広報 762号)

体育会硬式野球部は5月23日、春季リーグ戦で立教大学3回戦に1-0で勝利し、2019春以来となる6期ぶり通算41度目の優勝を決めた。

リーグ戦を10勝3敗2分けで終え、全5校から勝ち点を挙げる完全優勝を達成した。

(出典:明大広報 762号・ツイッター)

■東京都多摩支部 第19回定時総会報告(書面決議)

1) 表決総数(書面決議総会の出席会員数)は 1,503名

- ・ 到達した表決ハガキ 1,528枚のうち、氏名等の記載がないため無効としたもの3枚、ご遺族からの逝去の連絡 22枚を除く。(返信総数の内、日野地域支部の表決ハガキは82枚)
- ・ 案内等を送付した終身会費納入者 15,407名及び未納者等会員 236名、合計 15,643名のうち、9.6%。

2) 各号議案表決結果

- ・ 第1号議案(2021年度事業報告) 承認するとするもの 1,503名、承認しないとするもの0名
 - ・ 第2号議案(2021年度収支報告) 承認するとするもの 1,503名、承認しないとするもの0名
 - ・ 第3号議案(2022年度事業計画) 承認するとするもの 1,503名、承認しないとするもの0名
 - ・ 第4号議案(2022年度収支計画) 承認するとするもの 1,502名、承認しないとするもの1名
- 以上の結果、4件とも、承認、可決とする。

3) 通信欄に記載された質問・意見に対する回答について

- ・ 1件質疑がありました。

(質疑)第4号議案の 2022年度収支予算案に関して、「今年度の支部総会は中止なのに、予算が多すぎないか?」というものであった。

- ・ 多摩支部より、以下文書で回答した。

(回答)「総会が中止の場合も、開催通知費(校友会支部総会ご案内)やハガキ受取代金等を要するため、大きく減額になりません。また、今年度の収支予算(案)額には、周年記念事業積立金取崩による周年記念事業費 550,000円が含まれております。

ご理解のほど、よろしく申し上げます。」

→後日、質疑者より了承を得た。

以上

報告:第19回東京都多摩支部第19回定時総会実行委員長 箕輪隆志(昭島地域支部長)

映画紹介

荒井退造先輩の映画「島守の塔」が完成し、7月22日から銀座4丁目「シネスイッチ」で公開されます。 ※シネスイッチ銀座ほか全国にて順次公開



沖縄戦末期、本土より派遣された2人の内務官僚がいた。戦中最後の沖縄県知事として赴任し、軍の命令に従いながらも苦悩し県民の命を守り抜こうとした島田叡(あきら)と、島田と行動を共にし、職務を超え県民の命を守ろうと努力した警察部長の荒井退造。2人から命の重みを受け継いだ沖縄県民の戦火に翻弄されながらも必死に生きるそれぞれの姿が描かれる。

萩原聖人と村上淳がダブル主演を務め、太平洋戦争末期の沖縄を舞台に命や平和の尊さを描いた戦争ドラマ。「鉄の暴風」と呼ばれた激しい空襲や艦砲射撃、そして上陸戦により、約20万人が犠牲となった太平洋戦争末期の沖縄戦。絶望の淵に立たされながらも「命こそ宝」と訴え後世に希望を託した2人の人物と、戦争に翻弄される沖縄の人々の姿を描き出す。軍命に従いながらも県民の命を守ろうとした戦中最後の沖縄県知事・島田叡を萩原、職務を超えて県民を守るべく奔走した警察部長・荒井退造を村上、島田の世話役を務める

県職員・比嘉凜を吉岡里帆、さらに名作映画「ひめゆりの塔」にも出演した香川京子が現代の凜を演じる。「地雷を踏んだらサヨウナラ」の五十嵐匠が監督を務め、五十嵐監督と「武士の家計簿」の柏田道夫が共同で脚本を手がけた。



沖縄県警察部長

荒井 退造

あらい たいぞう

1900年栃木県宇都宮市生まれ。栃木県立宇都宮中学校(現:宇都宮高校)、高千穂高等商業学校(現:高千穂大学)に進学、後に明治大学夜間部を卒業、同年内務省に入省。1943年沖縄県警察部長に就任。

沖縄が戦場となる危機が迫るなか、戦況を楽観視していたため疎開政策に消極的だった当時の知事に代わり、県民の疎開・保護に尽力した。

島田叡が沖縄県知事着任後は二人三脚で奔走し、1945年3月までに県民7万3000人の県外疎開に成功。米軍上陸により県外疎開が不可能となった状況でも島田知事とともに合わせて延べ20万人の命を救ったとされる。最期は島田知事と摩文仁の森へ向かった後、消息を断つ。今日まで、その遺体は発見されていない。享年44歳。

情報提供:日野地域支部相談役 鈴木紘一氏(1968年商卒)

島岡吉郎。長年、明治大学硬式野球部の監督を務め、「御大」と呼ばれて親しまれた、この大先輩の知名度は、明治大学OBに限らず、多くの人たちの間で今尚高いのではないだろうか。島岡御大の言葉で私が最も心魅かれるのは「人間力（にんげんりょく）」である。分かり易いようで分かりにくい言葉かもしれないが、要するに深みのある（懐の深い）人間性、人間の心性を深く見据えた精神の事ではないか、と把握している。

この「人間力」は、4年生の控えの選手から就職の世話をした事や、自ら進んで便器の掃除の仕方を素手で教えた事などに良く現れている。真剣に誠意を尽くす「誠（まこと）」を大切にしていたのだ。この「誠」は「思いやり」にも通じている。私が嘗て新聞社に勤めていた頃、上司に東京五輪選手でもあった早大OBの記者が居た。彼がアマチュア・スポーツを担当していた時の事だ。御大が「M君、これを持って行って会社に帰ってから飲みたまえ」と、ウイスキーの入った紙箱を渡したそう。明大の六大学野球優勝の記事を書き終えてから、おもむろに箱を開けたらジョニーウオーカー（黒）が一本、そして何やら白い封筒が入っていた。何だろうと思って開けてみたら何と中に3万円が入っていたのである。昭和40年代の事と推測するが、この当時の3万円は決して少ない額ではない。それどころか今よりも貨幣価値が高かった。

Mさんは早速、タクシーに祝勝会用のビール1ケースを積んで明治大学硬式野球部の合宿所に駆け付けたのであった。御大はMさんが未だ薄給の平記者の身であったにも拘らず一生懸命、真面目に取材していたのを、しっかり見抜いていたのだ。このようなエピソードにも御大の「人間力」が良く現れているように思えてならない。御大は苦勞の末に人間性を洞察する力を養っただけでなく、その洞察力を基に深い「思いやり」を持っていたのだ。このような事が有ったからだろうか、Mさんは、私とは出身大学が異なっていたにも拘らず、実に良く面倒を見て可愛がってくれた。この恩は今もって忘れ難い。今も御元気だろうか。御大の「人間力」は、こうして不肖の後輩の私にも働きかけてくれたのだ。

「人間力」という言葉は古いと言う人も居るだろう。特に若い人たちにとっては、いささか馴染みの薄い言葉であるかもしれない。しかし、ここで少し踏み止まって考えて欲しい。「古い」「新しい」と「正しい」「間違っている」は同じ関係なのだろうか？私はそうは思わない。古くても時代を超えて価値あるものも有れば、いくら新しく流行していても、後になって害を及ぼすものだって有るのだ。これは現在と過去を振り返ってみれば良く分かる事ではないだろうか。

以前、国内最高峰と言われる大学での催しで、そこの学生と歓談したことが有った。或る事について「どうしてそれが正しいのか」と尋ねたところ、驚いたことに彼は「それは新しいから正しいと思います」と真顔で答えたのであった。そこには自分の思考で物事の正当性の根拠を吟味することもなく、「新しい＝正しい」というふうに思考が短絡していた。この傾向は異なる大学に於いても、推して知るべし、全く同様に、今も変わらないのを、つい先程実感している。

島岡御大の「人間力」は、時の流れから言えば、確かに古いかもしれない。しかし、時の流れを超えて大切にすべき不易の真実である事も確かであろう。時代は常に変化する。しかし、時代は新しさと共に常に進化しているとは限らない。そこを見据えて行こう。流行している変化は、実は退化であるかもしれないのだ。マハトマ・ガンジーはこう言っている。「歴史から人は学ぶことができる。人は歴史から何も学ばないと言う事を」。

明治大学と明治大学校友会の今後の弥栄を心から深く祈念しつつ拙文を閉じる。(了)



なんとかせい! 島岡御大の置き手紙 (文藝春秋企画出版)
単行本 - 2020/9/30

大学関連ニュース

“男の世界”大学応援団になぜ「女性団長」が増えている？バンカラ明治大学では初の女性班長（6/15付け日刊ゲンダイより）

大学応援団といえば、バンカラ、質実剛健とまさしく男の世界の印象。1921（大正10）年創設の明治大学応援団はその最たるものだが、応援団に初の女性班長（団長）中山実優さん（4年）が誕生している。彼女の応援指揮の下、明大野球部は今春の東京六大学野球のリーグ戦で6季ぶり41度目の優勝を果たした。



（応援団 YouTube より）

明治大学は4月22日、体育会スケート部の樋口新葉さん（商学部4年）に「明治大学特別功労賞」を贈呈しました。

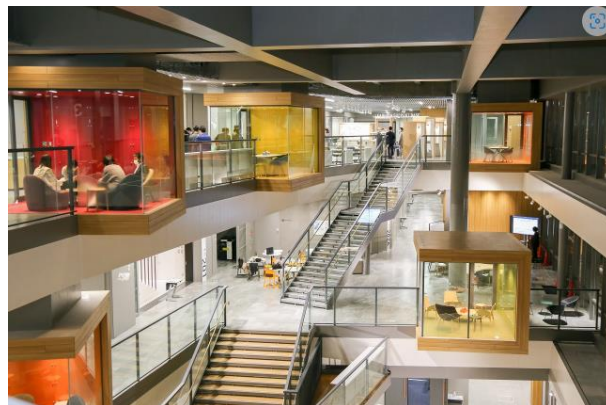
樋口さんは、2022年に開催された北京五輪団体戦において日本史上初となる3位（暫定）のメダル獲得に貢献。さらに、同大会の女子シングルでトリプルアクセルを成功させた五輪史上5人目の選手となり、5位（暫定）入賞も果たしました。これまで国内外の大会で上位入賞を果たし、スポーツ界での著しい功績とともに、本学の名声を高めることに貢献したことが認められ、特別功労賞が贈呈されました。



明治大学140周年記念誌データを公開しました

2021年度末まで実施された明治大学創立140周年記念事業の取り組みをまとめた記念誌をこのほど刊行し、記念誌のPDFデータを明治大学創立140周年記念サイトで公開しています。

<https://www.meiji.ac.jp/140th/news/memorialbook/>



明治大学和泉キャンパス内の新教育棟「和泉ラーニングスクエア」が完成し、学生の利用が開始されました。

学生へのメッセージ

菅 和禎さん（管財部 施設課）
和泉キャンパスは1～2年生中心のキャンパスです。高校を卒業したばかりのみなさんには、新しい学修や多様な学びに出会ってほしい、そして仲間と学びあって交流することで“たくさんの友人”という財産をつくってほしいと願っています。（中略）みなさんが卒業した後、「キャンパスで過ごした楽しいこと」、「たくさんの友人に囲まれたこと」、「多様な学修に触れたこと」、これら明治大学で過ごした楽しい思い出のすべてを誇りにして頑張ってもらえたらうれしいです。（明治大学ニュースより）

事務局より

日野地域支部へのご意見・ご要望、その他投稿記事は以下事務局までお知らせください。

〒191-0011 東京都日野市日野本町 4-18-10（小川方）

明治大学校友会日野地域支部事務局 宛て

または hinoshibu-info@meijikoyukaihino.sakura.ne.jp までお願いします。



「明治はひとつ！」

校友の皆様、母校のご支援・校友会活動にご協力よろしくお願ひ申し上げます。